

中年ライダー

まきのまさる

第一話
ライダー誕生



★ 操作方法 ★

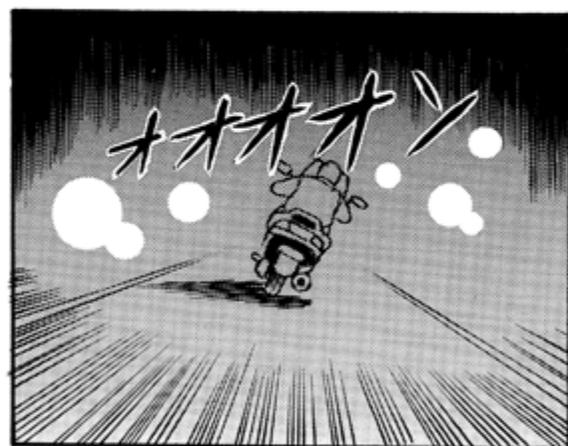
マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

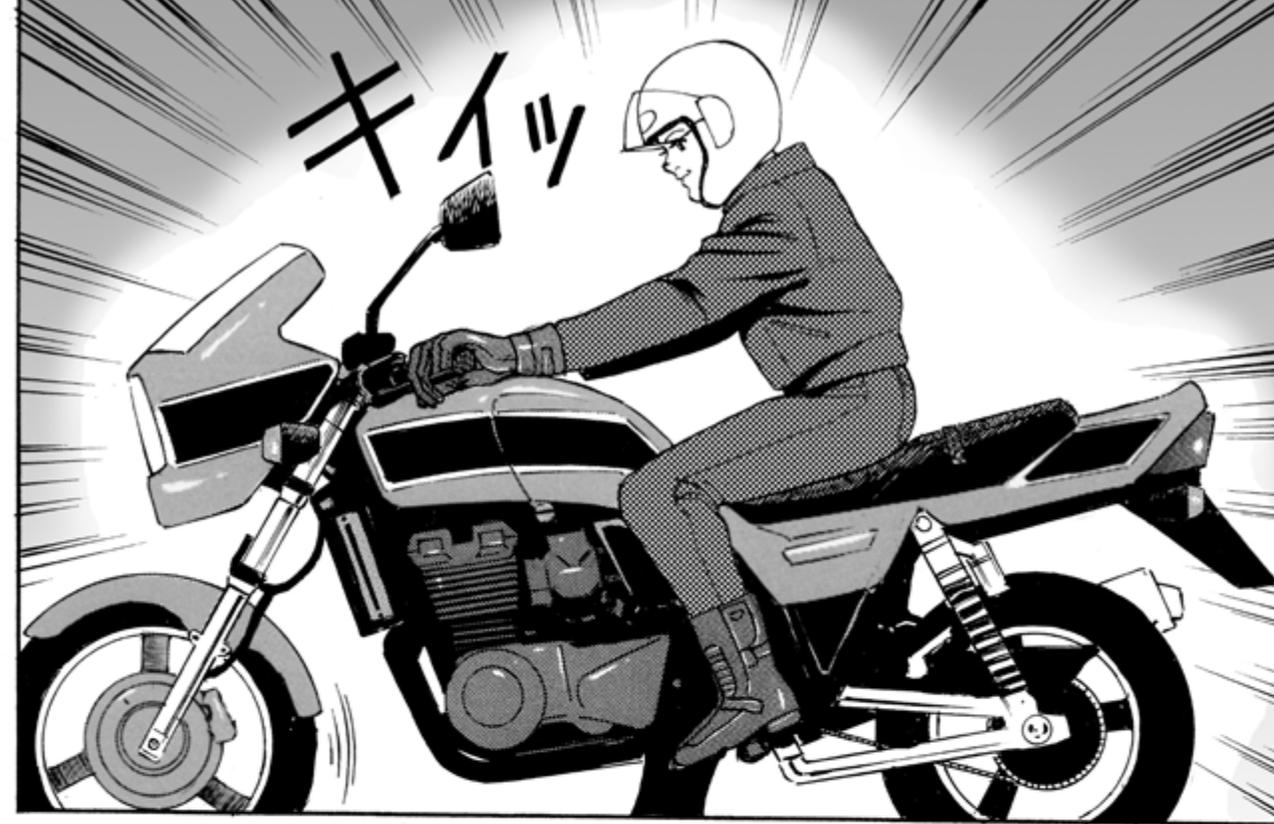
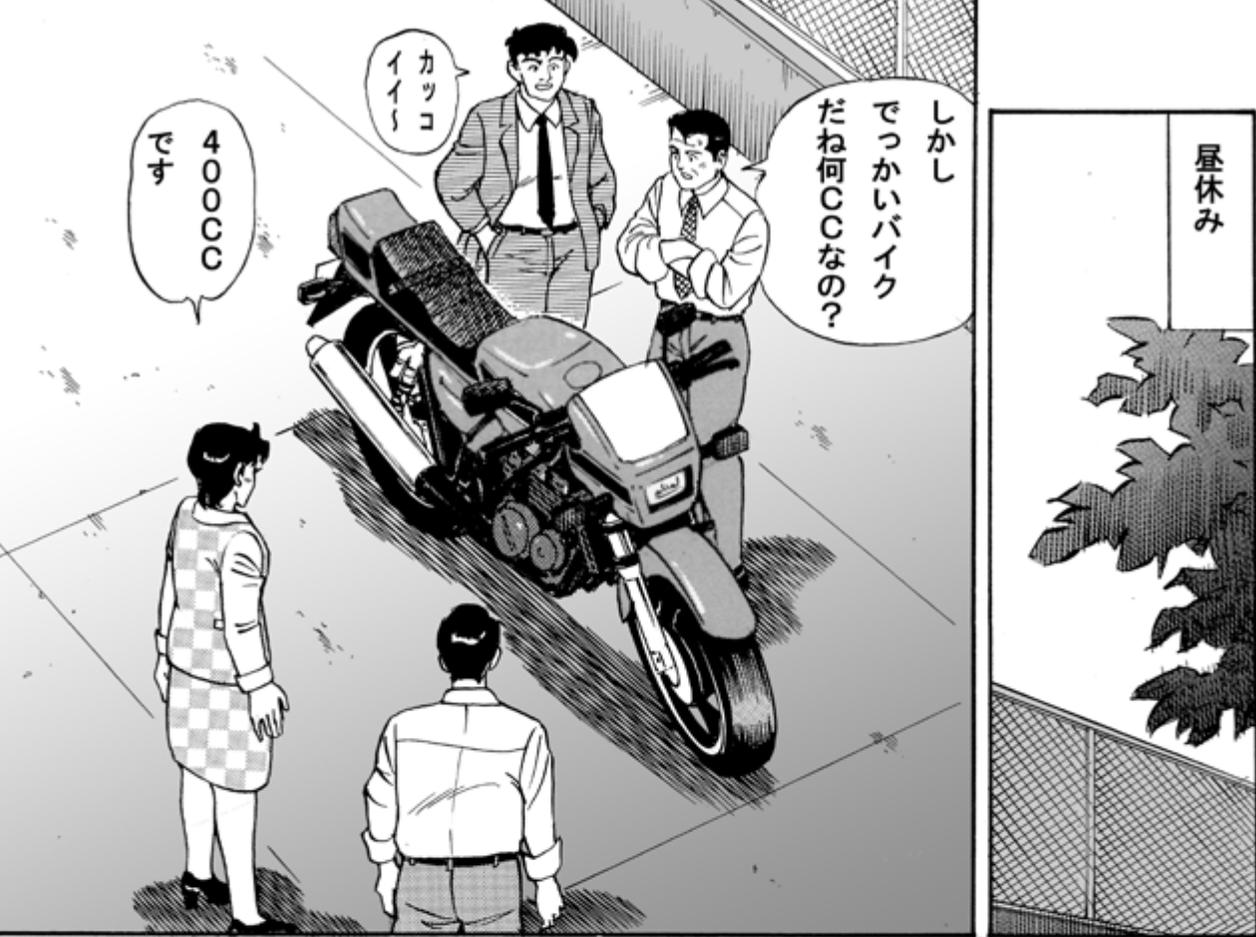














課長
乗って見
ますか？

ダメダメ
乗れないよ

大丈夫ですよ
課長昔乗って
いたんですもの



あれ？
簡単に
乗れるぞ

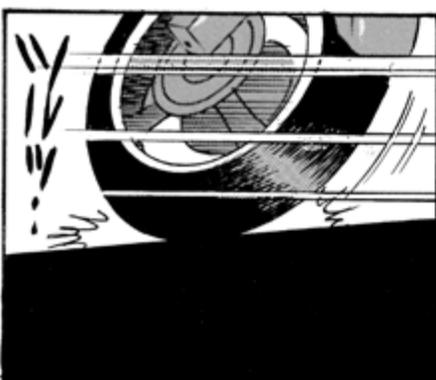
運転なんて
何年たっても
忘れないもの
だなー

課長
カッコイイ

いよー
課長



そーかな...



よし
もう少し
スピードを
上げて

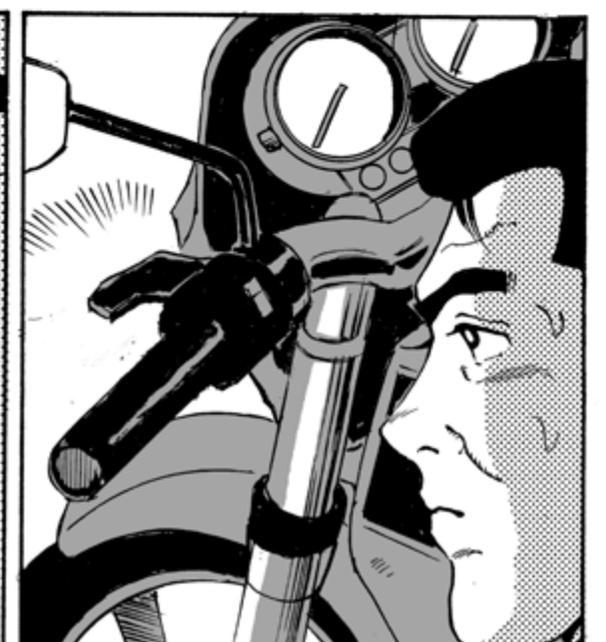
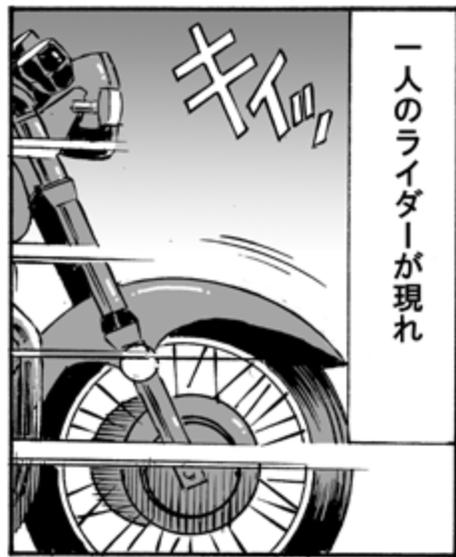
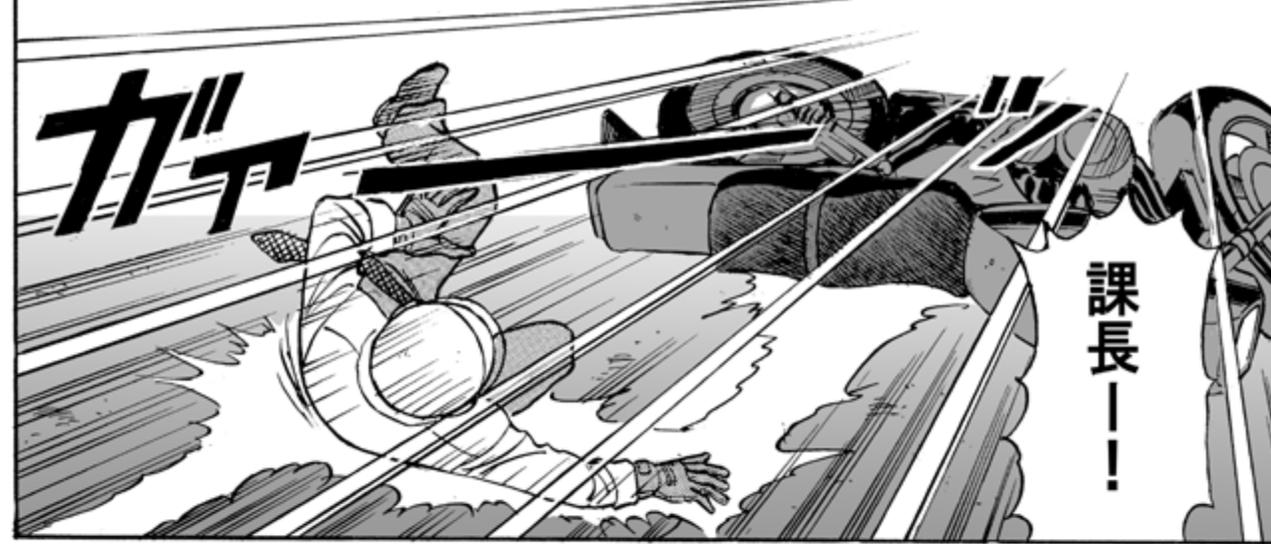
みんなを
ビックリさせて
やるか

ガチャン



あー



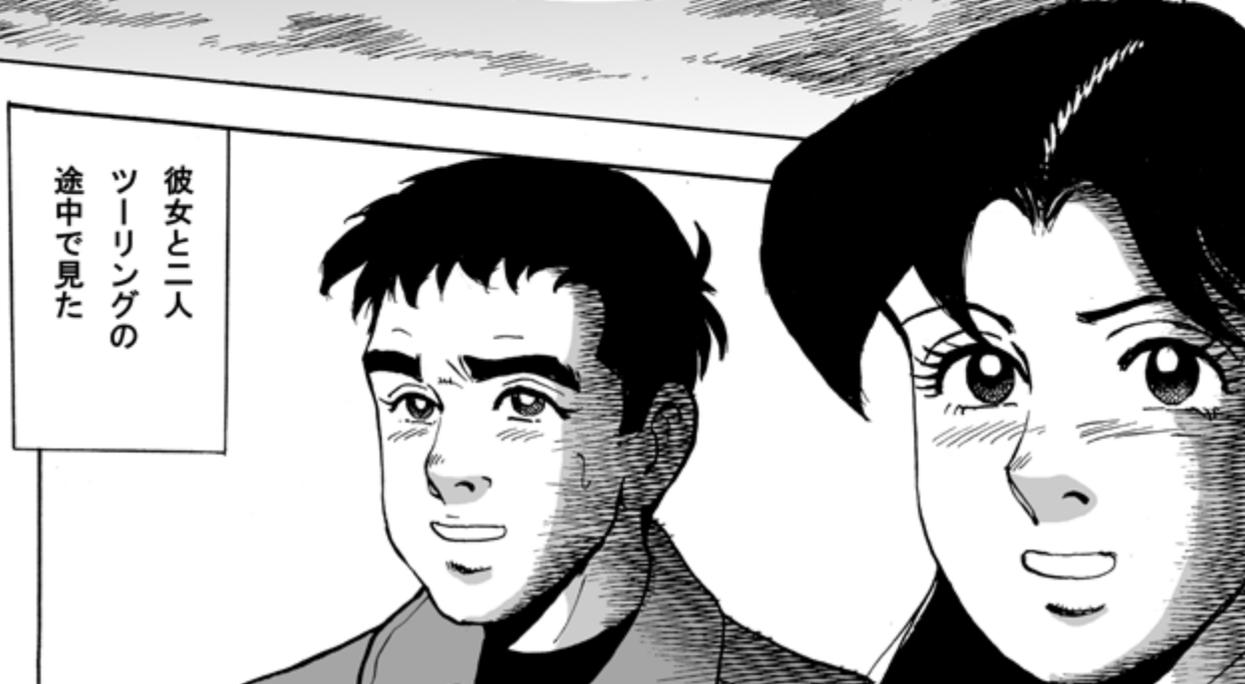




次の日から
私と彼女は毎週
一緒にツーリング
に出かけ



そして



彼女と二人
ツーリングの
途中で見た



大丈夫ですか？



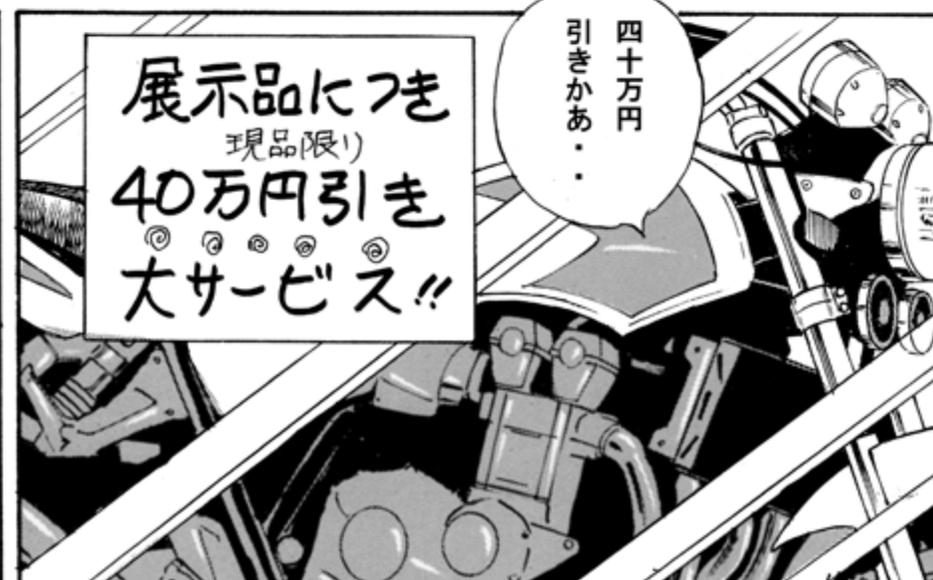
あれが私と一ツ年上
の妻との運命の
出会いだった



こんな時は
こーすれば
いいのよ

応急処置を
してくれた

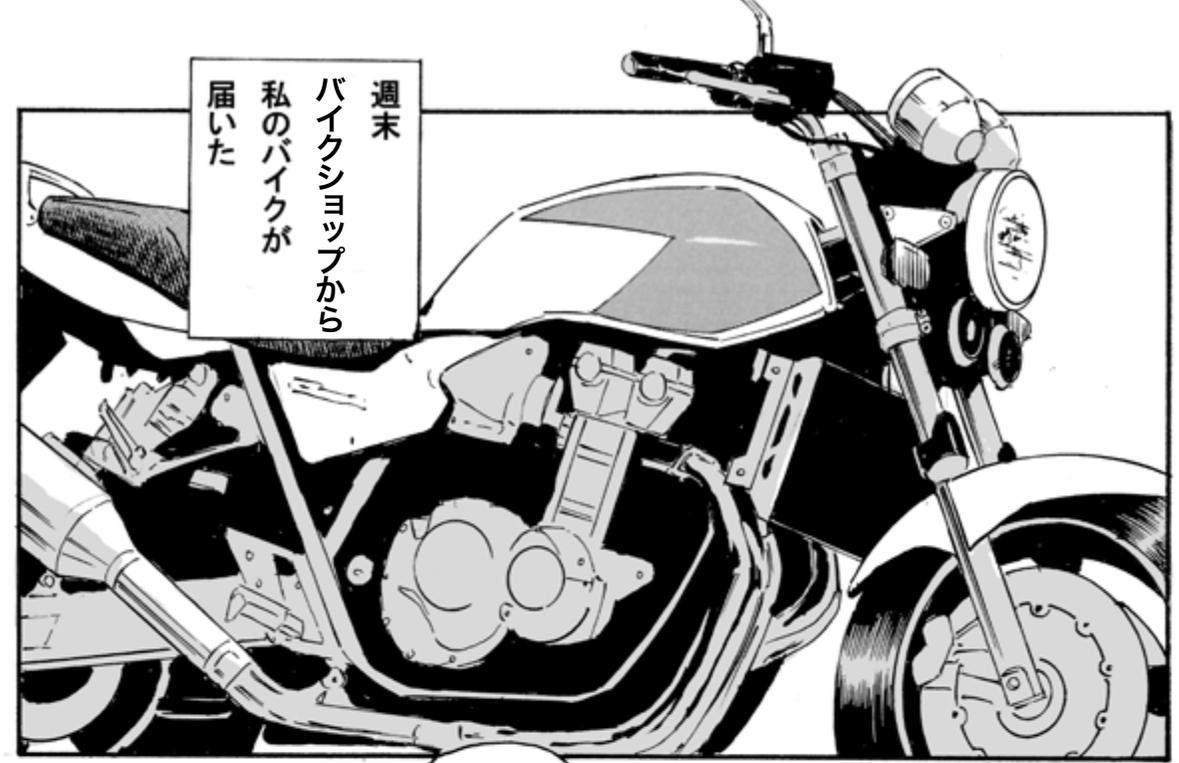
ギン







そして



週末
バイクショップから
私のバイクが
届いた



車の多い少ないは
関係なく今も昔も
バイクの楽しさは
変わらない



私と妻との
青春が復活した

本多くん
平気だよ

課長
大丈夫ですか



お母さん
一緒に夕日を
見に行つて
くれませんかあ？



いいわよ
あなた



やるねー
おやじも
キモー



あなたー
どうしたの
このバイク？

思い切つて
買っちゃいました

すげー
本当にバイク
買ったのー？



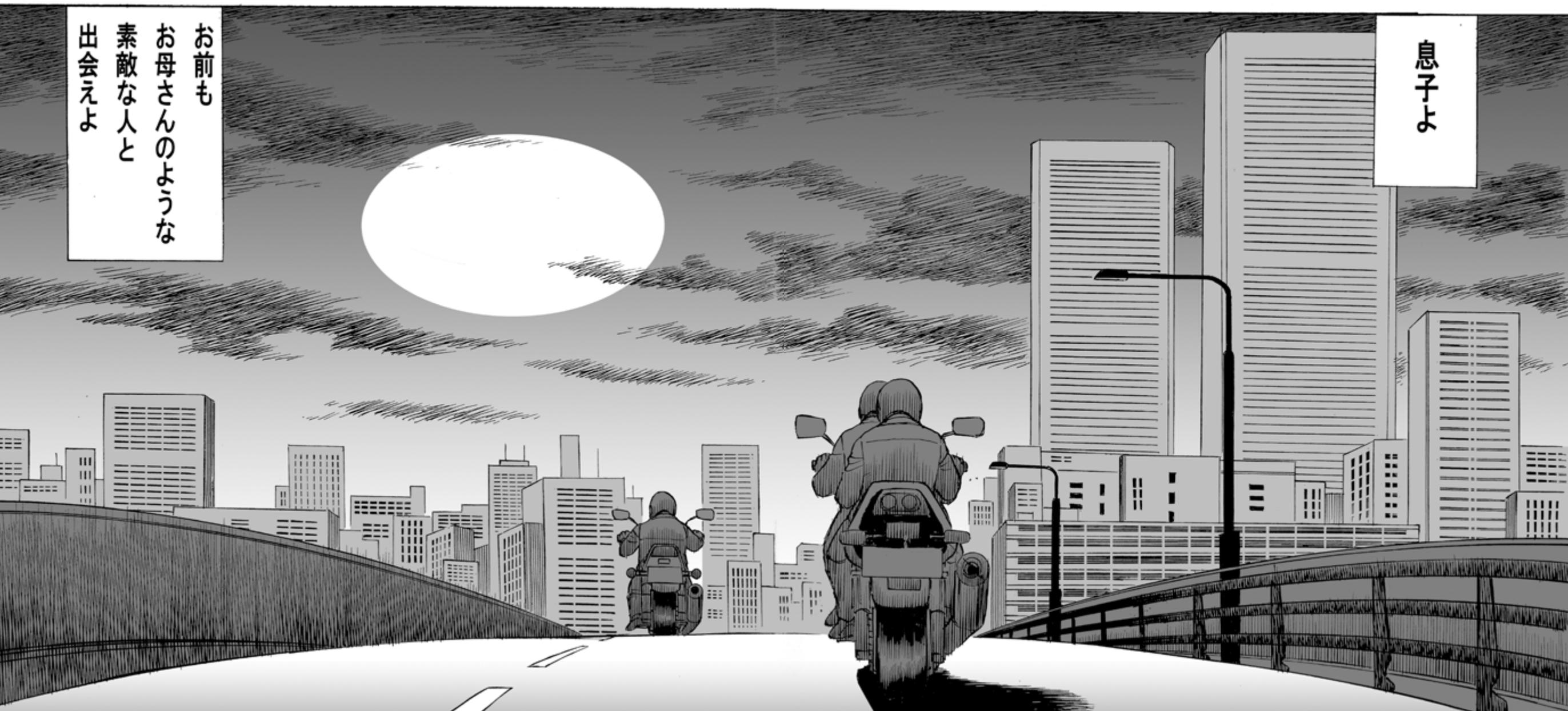
私は
忙しさにかまけて
君という一番大切
なものを見失う
ところだったよ



どうしたの
あなた
そんなに嬉しそう
な顔をして

あなたの
笑顔なんて
何年ぶりかしら

そーだね
随分迷惑を
かけたからね



息子よ

お前も
お母さんのような
素敵な人と
出会えよ

